

令和4年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	18	学校名	沼津東高等学校	校長名	渡邊 紀之
------	----	-----	---------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	育成する力	達成方法(取組手段)	成果目標	達成状況	評価	成果と課題	担当部署
主体的・多様性・学びに向かう力・人間力s	自己肯定力	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育 ホームルーム活動 教科の授業 自治会活動 部活動 学校行事 交通指導 校外活動への参加 揺籃、課題研究 朝読書 進路指導 	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身にだいたい満足しており、物事を肯定的に考えることが多い生徒 50%以上◎ 楽しく充実した学校生活を送っている生徒 90%以上◇ 	57.2%◎ 95.1%◇	A	<ul style="list-style-type: none"> ○目標としては達成できた。 ●不登校や心に問題を抱える生徒も増えており、今後は予防的対策が必要である。 ●外部へ発信とその工夫が必要 	生徒 保健環境 相談室 部活動 教務 図書研修 進路 学年 理数
	利他・共生力		<ul style="list-style-type: none"> 自分が所属する集団や社会に貢献できるよう意識して行動している生徒 80%以上◎ いじめ件数・問題行動・交通事故・違反指導数の前年比減● 	79.2%◎ いじめ 1件 問題行動前年+2件 交通事故数-10件	B	<ul style="list-style-type: none"> ○学年行事を経てクラスや部活動を越えた人間関係が構築され、行事が他者への思いやりや集団への貢献の向上に役立った。 ●生徒理解の策として心理テストなど検討したい。 	
	関心・知的好奇心		<ul style="list-style-type: none"> 学校の授業や日常生活の中で、興味・関心を抱いて情報を集めたり、これに取り組んでみたいと思ったりすることが多い生徒 60%以上◎ 生徒の年間貸出し数 2700冊以上● 	80.3%◎ 1月末時点で約2050冊(昨年度2300冊)	B	<ul style="list-style-type: none"> ○意識して物事を見て感じるようになり、学校の中だけでなく、地域や社会における出来事に関心を持つ生徒が多くなってきた。 ●地域や社会における高校生の活躍の場をもっと紹介していきたい。(1年) ●貸出冊数は減少した。 ○自習室を含めた利用者数は増加。また総合的な学習における利用も増えている。(図書研修) 	
	挑戦・行動力		<ul style="list-style-type: none"> 指示されたこと以外で、自分を高めるために、継続的に取り組んでいることがある生徒 70%以上◎ 難関国公立大・医学科志望者数 120人以上● 地区大会を突破した部活動 10以上● 	72.0%◎ 6月時点の3年難関大学志望者数は145名 地区大会突破部活動14(1月末時点)	A	<ul style="list-style-type: none"> ○3年次生は高い志望で最後まで受験に取り組んだ。(3年) ○最終の受験校決定まで志望を変えない生徒が多かった。(進路) ●外部への発信をさらに増やし、自己肯定感の獲得に結びつける(生徒) ●人と人のつながりをつくり維持継続するスキルの向上が必要。(2年) 	
	協働・巻き込む力		<ul style="list-style-type: none"> 協働場面では、積極的に発言・活動して集団をまとめ、参加者全員を巻き込むよう工夫している生徒 60%以上◎ 	55.2%◎	B	<ul style="list-style-type: none"> ○探究的な学習を通して、グループ内で進んで協力しあって一つの仕事を成し遂げることができた。(1年) ○探究的な学習『『揺籃』PBL』によって全員が「他人を巻き込んだプロジェクト」を実施・発表した。2サイクル実施し振り返りも含めてステップアップした。(2年) 課題研究時の活動では、ほぼ全員が雰囲気大切にしながら積極的に活動できた。(理数科) 	
知識・技能			<ul style="list-style-type: none"> 香陵祭、スタディツアー、高原教室の満足度 80%以上◇ 友人と協働して目的を達成することができた生徒 80%以上◇ 英会話、校外の学び、ボランティア活動に参加した生徒 70人以上● 	94.1%◇ 94.3%◇ 校外の学びに参加した生徒143人	A	<ul style="list-style-type: none"> ○体験入学や中学生への高校説明会生徒が発表し好評を得た(教務) ○香陵祭では3年次生の活躍の機会が確保され、生徒の満足度が高かった。(3年) ○スタディツアーでは、キャリアインタビューが今後の学習意と進路意識の向上につながった。(1年) ●リーダーシップを醸成したい。(生徒) 	情報処理 進路 学年
			<ul style="list-style-type: none"> 授業の内容が分かる生徒 80%以上 一人一台端末を活用している生徒1年次生 90%以上 共通テスト5教科7科目受験率 90%以上 	91.1%◇ 93.1%◇ 共通テスト5教科7科目受験率92%	A	<ul style="list-style-type: none"> ○週課題・小テストで定期的に自分の実力を測る機会を与えるとともに、基礎知識の充実を図ることができた。(各教科) ●成績下位層のフォローが課題 ○Google Classroomを活用した資料の配信や課題の提出、ロイロノートを活用グループワーク形式の授業した授業展開やプレゼンを行うことで、効果的な伝え方について学ぶことができた。 ○一人一台端末により、授業のみならず、揺籃や学校行事の進行がスムーズになった。(1年) ●一人一台端末を使用する教科が限定的である。(情報処理) 	

思考力・判断力・表現力等	目標設定力	<ul style="list-style-type: none"> 教科の授業 揺籃、課題研究 進路指導 職業を知るセミナー 大学出張講義 志望校設定等 部活動 学校行事 校外活動への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決や大きな目標達成のために、高すぎず低すぎない適切な小・中目標を設定することができる生徒 60%以上◎ 	71.4%◎	A	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の進路に関して主体的に考え、志望大学を設定することができた。(3年) ○課題や授業で、わかりやすい要約文を書くことを習得した。(国語) ○週課題提出や週テストを実施し、計画的に学習に取り組むようにした。(英語) ○定期テストの内容を精査、重要点を提示し目標設定に役立てた。(地公) 	教科 理数 教務 生徒 進路 学年 図書研修 部活動
	課題発見・分析力		<ul style="list-style-type: none"> 物事を多面的に観察し、その良さと課題の両方を見いだすことができる生徒 70%以上◎ 	77.8%◎	A	<ul style="list-style-type: none"> ○探究活動で沼東ゼミでは、興味のある分野において自分たちで課題を設定し、研究することができた。(1年) ○課題研究発表会では、ほとんどの生徒が価値や課題を見いだすことができた。(理数科) 	
	思考力		<ul style="list-style-type: none"> 意見を求められたとき、自分の意見を適切な根拠を示しながら、順序だてて説明することができる生徒 70%以上◎ 	72.3%◎	A	<ul style="list-style-type: none"> ○プレゼンテーション形式の授業を各科目で実施し、表現力と論理的思考の育成に役立てた。(地歴公民) ○定期テストにおいて思考力を測る問題を作成し、記述答案の中で丁寧な説明を心掛けた解答作成に取り組ませている。(数学) 	
	表現・発信力		<ul style="list-style-type: none"> 説明するときは、聞き手を意識して話し方を工夫したり、適切な機器を用いたりして、分かりやすく説明することができる生徒 70%以上◎ 	71.0%◎	A	<ul style="list-style-type: none"> ○課題研究発表会では、多くの生徒が聴衆に対する表現を上手に出し、わかりやすく説明することができた。(理数科) ○班で話し合った内容をクラスで発表し、納得させることができた。(国語) ○定期テストでは、100字程度の論述問題を課すことで書く力を伸ばした。(地歴公民) ○丁寧な答案作成の指導で、表現力の育成をした。(数学) ○生徒に解答を説明させる授業展開などで自身の理解を表現させる活動を行った。(数学) 	
	創造力		<ul style="list-style-type: none"> 授業や学校生活の中で、自分の世界や発想の幅が広がっている生徒 80%以上◎ 	78%◎	B	<ul style="list-style-type: none"> ○職ゼミ、大学出張講義等で新しい世界観や興味を持つことができた。(進路) ○俳句を自分で句作した。(国語) ○学期ごとにパフォーマンステストを実施することで、物怖じせずに楽しく表現することができた。 ○定期テストでは、100字程度の自由英作文を課すことで書く力を伸ばした。 ○ALTに、スピーキングやライティングの指導を積極的に受けている生徒の姿が見られた。(英語) ○時事問題の考察を頻繁に行い、観察力、考察力の育成に役立てた。(地公) 	
		<ul style="list-style-type: none"> 第一志望校に合格した生徒 70%以上● 難関国公立大・医学科合格者 50人以上● 探究や授業成果の校内発表会の実施、校外の発表会等への参加● 教科、科学、図書、関係部活、探究・課題研究等の入賞● 	<ul style="list-style-type: none"> 第一志望に合格した生徒 23.4% 難関国公立大・医学科合格者 57人 校内発表会 1回実施 日本生物オリンピック金賞(全国2位) 科学の甲子園県一次予選では、第2位になり、最終予選に出場した。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題研究発表会では、発表会に対する生徒の満足度は高いものであり、意義のあるものであったといえる。(理数科) 科学地理オリンピック等各種オリンピックにチャレンジした生徒が数人いた。 ○課題研究の1班が外部の研究発表会(ポスターセッション)に出場し最優秀賞に選ばれた。(理数科) ●PDCAをボトムアップ的手法で運用できるのが理想(生徒) 			
業務改善	<ul style="list-style-type: none"> DX、外部人材活用 CM 	<ul style="list-style-type: none"> 月別時間外労働時間の前年比減少 各種活動の検証 	月別労働時間平均 49.4h→53.1h 職員健康診断受診率 100%	B	<ul style="list-style-type: none"> ○C-learningの導入によって日々の出欠連絡がスムーズになった。 ●学校行事が再開され、時間外勤務が増加した。 ○引き続き、健康診断の受診を勧め、職員の疾病予防に努める。(保健環境) 	全教職員	